

市の人口と予算 (7月1日現在)	
人口・世帯 ()内は前月比/前年同月比	
合計	= 171,076人 (+133/+2,721)
男	= 85,002人 (+70/+1,332)
女	= 86,074人 (+63/+1,389)
世帯	= 69,739世帯 (+73/+1,703)
予算	
一般会計	= 495億7,126万2千円
特別・企業会計	= 403億9,356万5千円

特集

シニア世代の地域デビュー

シニア世代の皆さん、退職後の生き方をどのようにお考えですか。趣味の世界に没頭したい、まち歩きを楽しみたい、あるいはボランティア活動や地域活動をしてみたい…など、さまざまだと思います。流山市では、多くの市民活動団体が地域で特色ある活動をしています。地域を舞台に、新しい友だちと好きなことを楽しんでみませんか。今号では、シニア世代の皆さんの地域デビューについて特集します。

閩コミュニティ課 ☎7150-6076

地域デビューしました! ~散策会の企画・運営を行う

地域参加のきっかけは、すぐ目の前にある
三村 栄さん(71歳)

NPO法人「流山まちなみ会」は、「流山の魅力再発見とその発信」をテーマに散策会や写真展、シンポジウムなどを行っている市民活動団体です。三村さんは65歳で「仕事ばかり」の生活に終止符を打つと、広報ながれやまのお知らせを見て、まちなみ会の散策会に参加。2回目の散策会で「手伝って」と声をかけられ、メンバーの一員となりました。



「もう少し動くという選択もあったのですが、せっかくの人生なのだから、これからは楽しもうという気持ちで退職しました。初めての方でも難なく話しかけられること、こうした方がいいのでは…と思ったらすぐに体が動くのは、長年の営業職で身に付いたもの。そこを会の方が見ていて声をかけてくださったようです。会では散策会の案内役として、参加者の皆さんと市内を歩きます。流山市のことをもっと知らなければと図書館へ通い、学ぶ楽しみも再発見しました。地域参加のきっかけは、目の前に転がっています。それを見つけたら、とにかくやってみることで」



地域を舞台に、次なる人生をスタート



地域デビューしました! ~史跡ガイドとして流山のまちを案内

まちを好きになる第一歩は、まちを知ること
須郷 隆雄さん(67歳)



仕事を早期退職し、国際協力機構(JICA)のシニア海外ボランティアとして約10年間海外生活をしてきた須郷さん。64歳の時に活動を終え、流山に帰ってきました。それまでは「寝るだけの流山」でしたが、これからは「生活の中心を流山に移すのだ」と一念発起し、「流山市郷土史検定」にチャレンジ。4回の検定対策セミナーを経て見事合格してから、第2の人生が始まりました。

「さあこれからは流山で、と腰を落ち着けましたが、流山のことを何も知らないことに気付いたんです。それで郷土史検定のセミナーに参加し、NPO法人「流山史跡ガイドの会」の方たちにお世話になりました。検定に合格するとガイドとして勧誘していただき、現在は本町界隈や運河沿いなど、旧市街を中心に約2時間半のコースをご希望に応じて案内しています。3年経ちますが、毎日が刺激的。声を出して歩くので、健康にも良いと感じています。まちを知ることが、まちを好きになる第一歩ですね。大好きな流山を多くの方たちに知っていただけるこの活動が、楽しくて仕方がありません。自分の住んでいるまちを好きになるよう、何か行動を起こしてみることをお勧めします」

井崎義治市長からのメッセージ



好きなことを楽しみながら
知識や経験を地域活動に

団塊の世代が定年を迎えられ、各分野で活躍された大勢のシニア世代の方々が各地域に戻って来られています。定年退職され自由な時間が持てたとき、皆さんは何をされますか。住み慣れた流山を舞台に人生の第2ステージをスタートさせてみませんか。

今号で紹介した方々をはじめ、退職後すでに、さまざまな分野で活躍されている市民の方がたくさんいらっしゃいます。その方々のお話をうかがうと、活動のきっかけは、ちょっとした好奇心とチャレンジ精神のことです。好きなことや興味を覚えたことに出会えたら、そこで知り合う新しい友だちと一緒に楽しむではいかがでしょうか。現役時代に培われた皆さんの知識や経験を地域活動に活かしていただくことで、流山もより快適で楽しいまちになります。私も市民の皆様の知恵と力が活きるまちづくりに向け、全力で取り組んでまいります。

流山市では、さまざまな市民活動団体が活動の輪を広げています

市民活動団体を強力サポート！市民活動推進センター ☎7150-4355（生涯学習センター 3階）

地域に心地よい居場所を見つけよう！

市民活動推進センター長 木村 正夫さん

市民活動団体とは、「～をしたい」という発意のもと、地域貢献につながる活動を行う団体です。センターには現在、174の登録団体があり、それぞれが特色ある活動を行い、NPO法人として法人化している団体も少なくありません。



団塊の世代が退職され地域に戻って来られるのは、今がピークといわれています。シニア世代の皆さん、これからは地域に、心地よく、広がりのある居場所を見つけませんか。



6月に行った「セントラルパークフェスタ」。センターに登録する市民活動団体が参加し、ワークショップの開催、飲食店の出店などを行いました。活動の一端を知っていただくとともに、団体同士のコラボレーションによる新しい試みも。センターではこうした企画・イベントを毎年行っています。

【市民活動推進センターの登録団体一覧】 ※60歳以上の方が参加できる団体の一部を掲載しています。

○環境保全などの団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
千葉環境管理研究会	環境問題と管理を学習し、地域で活動。	✉ ahirate@gmail.com（平手）
温暖化防止ながれやま	地球温暖化防止のための啓発事業（環境イベント、学習会など）。	☎ 7154-6309（春田）
富士川に清流を取り戻す会	子どもたちへの学習会、稚魚放流会や清掃活動を通し、富士川の清流を取り戻す活動。	☎ 7174-8043（飯塚）
利根運河の生態系を守る会	利根運河と周辺の自然・生態系・景観を残していきたい有志が集まり、年8回の自然観察会と、年2回の運河塾を開催。	☎ 7154-6746（新保）
石けんクラブ流山	環境問題を考えて、無添加石けんづくり活動および利用運動を推進。	☎ 7145-0562（雷田）
緑と水辺を考える会	市内東部地域の緑と水辺などの原風景が残る豊かな自然環境の保全・再生・創出などの研究および実践。	☎ 7156-2027（魚住）
オーガニックな暮らしをめざすネットワーク	人や環境にやさしい社会を目指し、農薬いらずで大気を浄化するエコ植物・和わたを育てている。糸つむぎカフェも運営。	☎ 7156-1773（越智）
ながれやまゴーヤクラブ	「ながれやまゴーヤの街」にするため、ゴーヤカーテンを設置し、「涼・食・和」に対するすばらしさを理解していただく活動。	☎ 7154-2327（事務局）
里山ボランティア流山	市内の森と里山の植生管理や保全など。	☎ 7152-3805（事務局）
小さな森づくり in 流山プロジェクト	緑をもっと増やすため、苗木やさし木の植樹などを通じて、小さな森づくりを実施。	☎ 090-5213-2240（秋元）
みやぞの池と坂川を活かしたまちづくり市民の会	川と水辺を生活の場に取り入れ、ふれあいを通して河川環境の整備活動を実施。	☎ 7159-8968（欠谷）
Puregreen 流山	新川耕地の休耕地を活用し、自然農法により作物を育てる。	☎ 090-1734-1545（新井）
大堀川美しい水辺づくりの会	大堀川でのイベント企画、生態系の調査、川の清掃や維持管理など。	☎ 7154-6788（恵良）

○男女共同参画の団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
NPO法人 パートナリーシップながれやま	男女共同参画のまちづくり活動。	☎ 080-5494-2323（事務局）
ヒカルエ（働きたい女性のミカタ）	働きたい女性をサポートする活動。	☎ 090-5312-0907（近藤）

○まちづくり活動などの団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
NPO法人 流山まちなみ会	流山の魅力再発見散策ルートの設定や散策会の実施、まちの魅力再発見プロジェクト・写真展の開催など。	☎ 090-2476-7351（野口）
まちネット流山	行政や企業と連携して、地域の課題を解決。	☎ 7154-6788（恵良）
NPO法人 流山景観フォーラム	景観の保全・形成や景観条例の啓発活動など。	☎ 050-5551-6510（下栗）
ながれやまガーデニングクラブ 花恋人	ガーデニングの経験と知識を通して、人々との交流を行う。	☎ 090-4433-0607（小高）
NPO法人 コミュネット流山	まちづくりや地域の活性化、市民活動に支援を行い、健全なまちづくり、自然環境の保全修復、社会教育など公益の増進に寄与。	☎ 090-2560-1334（辺見）
みんな元気・まちが元気 ネットワーク	地域の活性化を図るためのイベントの企画・運営など。	☎ 080-6685-6847（武藤）
市民自治をすすめる会	3カ月に1回、行政の計画や条例について、市民目線で学ぶ「もっと知りたい流山市民塾」を開催。	☎ 7156-1773（越智）
流山まちおこし応援団 みりんぴあ	みりんを活用した地域の食に関わる産業のサポートと流山のみりんの歴史の啓発。	☎ 080-4339-0141（石井）
NPO法人 流山安心安全ネット	ハチの巣の駆除、植栽の消毒、子育て支援（寺子屋・習字・英会話）。流山市防犯協会連合会の事務局。	☎ 7154-7698（牧）
地域防災危機管理を進める“地域防”	予測不能な災害に備え個人・家族・自治会単位で取り組むことのできる情報提供事業。防災管理体制を推進・強化する活動。	☎ 090-8007-0391（福井）

○スポーツ団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
健康体操 パーソナルウォーキング	女性を対象に、体調に合わせたストレッチと筋力体操を通した交流活動。	☎ 090-5214-8960（柏木）
北総歩こう会流山支部	流山、松戸、柏、我孫子など東葛地区を主な活動地域としたウォーキング活動。公認ウォーキング指導員への道も開けます。	☎ 7154-0170（和田）

流山市卓球連盟	日本体育協会スポーツ指導員資格者による卓球技術の指導など。※対象は有資格者	☎ 7158-6946（斎藤）
流山市フィットネスクラブ指導部（連合会）	女性を対象にフィットネスを通した地域交流。	☎ 7159-8096（福原）
流山市コミュニティスポーツリーダー会	市民の健康づくりを応援。市内5カ所の小学校や公園を拠点に、日曜の朝、ジョギング・ウォーキングを中心に活動。	☎ 7174-2271（佐藤）
流山クラブボーイズ	少年の健全育成を図るため、硬式野球経験者（審判を含む）による野球の指導。	☎ 090-9310-3229（白永）
東葛ラウンドダンスクラブ	ラウンドダンスを楽しみながら、普及・発展に寄与。年1回、他地域の愛好者が集まりラウンドダンスのパーティーを開催。	☎ 7143-5509（谷）
流山市太極拳連盟	太極拳を通じて、加盟団体の交流と親睦を深める活動。※お住まいの近くで活動する加盟団体を紹介。	☎ 7152-2873（下田）
NPO法人 おおたかスポーツコミュニティ流山	誰でも楽しむことができ、地域住民自らが主体となって運営する総合型地域スポーツクラブを目指す。	☎ 7150-7474（生涯学習センター内・小林）

○ICTや経営支援活動などの団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
流山パソコンボランティア	中央公民館や初石公民館、野々下福祉会館、コミュニティプラザなどで個人対応を中心とした初心者対象の講座を開催。	☎ 7159-3410（土井）
ゆうパソ流山	週2回パソコンを持ち寄って集まり、質問などに答えてパソコン技術の向上を目指す。	☎ 7145-3598（井口）
流山ノートパソコンクラブ	求職活動中で3級以上のスキルを身に付けたい方、脳トレーニングを兼ねパソコン習得に意欲のある方などを対象に勉強会を開催。	☎ 7159-2787（加藤）
夢テクノ	主に中高年齢層を対象にパソコンに親しむ動機付けを行うためのボランティア活動。	☎ 7150-2627（町田）
パソコンボランティア [IT カルチャア]	中央公民館のIT室を拠点に、パソコンの普及活動を行う。	☎ 090-9846-0661（西村）
NPO法人 とうかつ経営支援グループ	中小企業・個人事業・NPO法人の創業支援および経営相談、各種補助金の申請支援、異業種交流、研修・セミナー、地域活性化など。	✉ master@to-ksg.org（事務局）

○社会教育の団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
NPO法人 ながれやま栞	ボランティアで絵本の読み聞かせなどを、市内小学校・図書館で実施。	☎ 7152-3388（畑江）
NPO法人 なでしこ会	古布でつるし飾りや人形を作る講座を開催。作品展示会も開催。	☎ 7153-2629（事務局）
野草フォトクラブなすな	山野草の撮影を通じて、野草に関する知識を深め、パソコンの快適操作と展示会で野草の魅力を活発的に紹介。	☎ 7159-5273（古室）
創作童話かざぐるまの会	童話の創作、勉強会、読書推進。	☎ 7159-3288（豊桑）
流山史跡探訪友の会	流山を中心とした地域史研究と、史跡案内を実施。	☎ 7152-8571（稲見）
生涯現役ときわ会	心身ともに健康でかつ何か地域社会に貢献できることを行いながら、生きがいと満ちた生活をするを目的とした会。	☎ 7174-5864（今成）
生涯学習サロン「びこっと」	地域の子どものための健やかな成長のために、地域としてできることを提供する活動の場。	☎ 080-5437-4248（加藤）
トランプサイズの油絵	和菓子の箱を再利用して油絵を描く。イベントなどで子どもたちへ絵の指導も実施。	☎ 7152-1925（金井）
「喜楽会」	高齢化の時代に、趣味やスポーツなどを通じて地域の顔見知りや仲間を作る活動。	☎ 7144-0651（伊藤）
ママカフェおかあざん塾	講演会やイベントの企画・運営など。	☎ 090-8026-9440（栗田）
流山市立博物館 友の会	東葛地域を中心に、歴史・環境などの研究を行う。年1回研究史を発行。	☎ 7154-3675（辻野）
全国友の会 流山支部	家事や生活の知恵などを若い世代へ継承する。※女性対象	☎ 7144-3814（渡辺）
NPO法人 Rise up 女性サポート実行委員会	家事や育児の合間にできる講座やイベントを開催。皆さんのリフレッシュや自分磨きのお手伝い活動。	☎ 7103-8249（事務局）
流山ファシリテータークラブ	市民活動はじめ、さまざまな場づくり、話し合いを円滑に進める方法を学ぶ。	☎ 7150-0051（梅谷）
流山朗読グループ	広報ながれやま、県民だより、福祉だよりなどをテープに録音して、視覚障害者の方へ郵送。対面朗読、社会福祉協議会への協力。	☎ 7143-9252（菅原）
平和と文化の会	文化的なまちを目指して各種音楽や文化イベントの支援、年1回講演会と演奏会のイベント企画（収益はグリーンパルト運動へ寄付）。	☎ 7159-4954（時任）
ホビーハウスコネール	通常はパン教室、蕎麦打ち教室、陶芸教室など。年2回、さまざまな趣味の作品の企画展、特別展を開催。	☎ 7144-9477（渡辺）
NPO法人 東葛地区婚活支援ネットワーク	顔の見える婚活支援。「トモダチ（友達・共立ち）婚」「目立婚」をキーワードに安心・安全な出会いづくり。	☎ 080-6707-6868（松澤）

○子どもの健全育成などの団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
NPO法人 流山おやこ劇場	子どもたちのより良い文化環境づくりのため、子どもの居場所や遊びの提供、舞台劇や人形劇などの鑑賞会を開催。	☎ 7152-0446（事務局）
ガールスカウト千葉県第32団	女性を対象に、活動を通して社会教育を行う場。	☎ 080-1008-4743（榎村）
流山保育ボランティアグループ「ひだまり」	親子サロンや一時保育で子育て応援団として楽しく活動。	☎ 7158-1363（小田）
ボーイスカウト流山第4団	青少年の社会教育活動。	☎ 7144-7839（小野寺）
NPO法人 子どもの教育・生活支援「アニー基金」プロジェクト	両親と暮らせない子どもの人権を守り、生活支援や教育支援を行うことを目的とした活動。	☎ 7154-0649（日高）
ボーイスカウト流山第3団	自然体験学習「星の森学校」で特技を生かした支援活動など。	☎ 090-7423-1704（福住）
流山おもちゃ病院	大切なおもちゃの診察と治療を行うボランティアグループ。※研修あり	☎ 7158-4407（濱野）
流山こども将棋育成会	将棋の面白さと厳しさを子どもたちに伝える。将棋を通じて礼儀や想像力などを養う。	☎ 7154-2130（遠見）
ログス腹話術研究会 流山同好会	腹話術で笑顔を届けるボランティア活動。※生涯学習センターで月1回開催。まずは見学を	☎ 080-5046-7808（柏倉）
流山市子ども会育成連絡協議会	子どもを相手に、ジュニアリーダー講習会、育成者講習会などを実施。市内子ども会の情報交換など。	☎ 7145-7886（藍川）

NPO法人 ながれやま子育てコミュニティなこっこ	「流山の子育てを共に楽しむ・考える・助け合う」ことを目的に活動。	✉ Nakocco@gmail.com（事務局）
E-kids planet	イベントなどを通して英語教育を広める活動。※保育スタッフとして活動していただける方。	☎ 080-5046-7494（木村）

○福祉や健康に関する団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
NPO法人 市民助け合いネット	登録してある助けてほしい「利用会員」に、助ける「提供会員」（登録済み）を紹介。低謝礼で助け合うボランティア活動。	☎ 7153-5733（事務局）
NPO法人 自立サポートネット流山	流山市および近隣在住の身体・知的・精神障がい者が長く将来にわたり健全で安心して暮らせる環境整備と地域づくりの実現に寄与する。	☎ 7155-4939（勝本）
健康教育学校	子どもたちへの健康意識改革のための啓発活動など。	☎ 050-5551-6510（下栗）
NPO法人 流山ユース・アイネット	家事援助や外出支援サービスなどの助けあいふれあい活動。	☎ 7153-3911（事務局）
ながれやま点訳会	パソコン点訳により、盲学校や点字図書館から依頼される本を点訳する。個人からの依頼にも対応。	☎ 7150-0906（久保尾）
流山音楽療法「元気にドレミ」	音楽療法を学びたい方との勉強会。施設などでの音楽療法の実践。	☎ 7159-1706（武田）
NPO法人 ほのぼの研究所	認知症予防！脳を活性化する会話手法「共想法」の実践と研究。	☎ 7154-5907（長久）
ぶどうのいえ	障害をおもちの方との会話や食事。イベントの運営など。	☎ 047-364-6899（栗）
NPO法人 C&Cクラブ	介護事業とカルチャー事業で豊かなコミュニティづくりを目指す。	☎ 7154-1325（上矢）
お役に立ち隊	身体障害者および一人暮らしの高齢者・がん患者への家屋の修繕など（壁のペンキの塗り替え、棚の取り付け、その他いろいろ）。	☎ 7150-6438（木村）
流山市デフ協会	市内在住の聴覚障害者の社会参加拡大。一般市民との交流。	☎ 7148-1866（小野寺）
東葛流山福祉会	福祉施設での手遊びやカラオケなどのボランティア活動。	☎ 7152-8274（平沢）
流山失語症友の会	毎月最終日曜、言語障がい者および家族が集い、情報交換しながら豊かに生きていくことが目的。※お手伝いしていただける方。	☎ 7155-4647（荒井）
認定NPO法人 東葛市民見人の会	その人らしく住み慣れた地域で安心して暮らせる成年後見活動。	☎ 7151-4715（原）
たすけあいの会なでしこ	暮らしの援助活動の推進。自主的・自発的な助け合いの心を地域の中で育てていく。	☎ 7155-1600（安井）
流山市身体障害者福祉会 視覚障害者部会	視覚障害者の方を対象にしたイベント（卓球や朗読など）の運営と補助。	☎ 090-7820-2085（加藤）
介護・認知症の家族と歩む会・流山	高齢者やその家族が安心して暮らせる地域づくり。	☎ 090-5509-5398（北川）
笑いヨガ de PPK in 流山	笑いヨガで健康増進、介護予防、地域活性化などの効果の普及。	☎ 090-7190-7212（出口）
流山市手話サークル連絡協議会	手話の勉強、聴覚障害者とのコミュニケーション、催しなどでの手話通訳、役所への手話通訳の設置。	☎ 090-4724-4552（青野）

○国際交流などの団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
NPO法人 流山市国際交流協会	外国語講座、ホームステイ、通訳（5カ国語）、外国人への日本語の指導、協会の広報活動など。	☎ 7128-6007（事務局）

○文化活動などの団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
流山陶友会	作陶を通じ、会員相互の親睦を図り、創造することによって生きがいを豊かにすることを目的とする。	☎ 7155-1440（今井）
流山市合唱連盟	合唱活動を通じて、市民との交流を図る。毎年、加盟する12団体による合唱祭を開催。	☎ 7154-9161（斎藤）
フルートアンサンブル「紙ふうせん」	フルートアンサンブルの練習・演奏。施設への訪問演奏、定期演奏会を開催。	☎ 7154-7413（須田）
美しが丘女声合唱団	女性を対象に、合唱活動の企画・運営など。	☎ 090-8493-4532（吉川）
流山俳句協会	会員同士で作った俳句を詠み合う。俳句大会（年2回）や少年少女俳句大会の企画・運営など。	☎ 7143-0231（北川）
いいものとの出合い	世のため人のためになる優れた事象をイベントなどを通して世に紹介。	☎ 050-5551-6510（下栗）
老・ゆう大音楽専科OB連合会	童謡からクラシックまで月1回歌う。チャリティーコンサートなどへの出演。※ゆうゆう大学OB以外の方も歓迎	☎ 7154-5852（栗原）
ビデオ未来ひろば	ビデオ作品の制作、技術向上的勉強会、委託を受けたビデオの制作など。	☎ 7147-8828（松本）
四季の会	毎週集まり、会員同士で絵を練習する。流山市美術家協会の講師から指導を受けることもあり。展覧会への出品など。	☎ 7143-0616（野崎）
花神会	園芸展示を中心とした生きがいづくりの活動。	☎ 090-8175-3713（塚本）
流山市書人協会	書芸術の高揚をもって相互理解を深め、秩序ある会の進展と、書道文化を通して地域との交流を図る。	☎ 7154-3204（坂本）
流山スクエアダンスクラブ	生涯スポーツレクリエーションとしてのスクエアダンスを通して、地域との融和を図りつつ、健康の維持・向上を図る。	☎ 7154-2820（高野）
楽々クラブ	クラシックギター、リコーダー、オカリナなどの楽器による演奏活動、ボランティア演奏など。	☎ 7154-7035（砂川）
音楽の陽だまり	オカリナ愛好者の集まり。コンサートの企画や初心者講習会、親睦を深めるためのバス旅行など。	☎ 7152-1871（伊藤）
流山フィルハーモニー交響楽団	演奏会の企画・運営など。※運営スタッフとして活動していただける方。	☎ 090-9304-1970（戸倉）
流山南陶会	陶芸を通して、会員相互の親睦を図り、創造することによって、生きがいを豊かにするとともに、地域社会に貢献することを目的とする。	☎ 7159-4403（土保）
流山ひなまつりの会	つるし雛などの制作、公共施設などでの展示、つるし雛づくりの講習会の実施など。	☎ 090-4076-6927（小泉）

○人権をテーマにした団体

団体名	活動内容（目的・概要）	連絡先
CAPなのはな	暴力に対する予防教育のため、学校や地域の研修などでCAPプログラムを提供する。	☎ 7140-7450（磯野）

緑のカーテン写真コンテストとゴーヤレシピコンテストを実施 今年、緑のカーテンを作った方は、ぜひ写真に撮ってコンテストに応募してください。また、栄養豊富なゴーヤの実をおいしく食べるための簡単レシピも募集します。圃環境政策・放射能対策課☎7150-6083 ⑩ 8260

図書館の月曜開館

図書館では、利用の多い7月から9月までの間、月曜も開館します。▷月曜の開館時間＝中央図書館、森の図書館、木の図書館:9時30分～17時、各分館:10時～17時 圃中央図書館☎7159-4646 ⑩ 566

地域を舞台に活躍しよう！ 「まちの先生」登録制度

「まちの先生」登録制度をご存じでしょうか。これまで培ってきた知識や経験、技能を地域のために活かしてくださる方を登録する制度です。地域の人材としてご登録いただいた方には、自治会をはじめNPO法人や市、公共施設などの要望により、「まちの先生」として市民講師になっていただいています。

わたし、「まちの先生」です

本物の星を自分の目で見てほしい

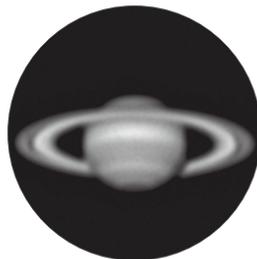


内藤 峰夫さん <天文教室>

「東葛星見隊」という天文グループで、観望会の開催や天体写真の撮影などを行っています。これまで我孫子や柏を中心に活動してきましたが、ぜひ流山でも観望会をやりたいと思い「まちの先生」に登録しました。

望遠鏡で月や土星、星を見ると、皆さんとっても驚かれます。それは写真やコンピューターグラフィックではない、本物の星を自分の目で見たという感動なんです。特に子どもたちの反応は素晴らしく、数十キロの機材を運んだつらさなど吹っ飛んでしまいます。

私が子どものころは、流山でも天の川がはっきり見え、ひと晩にいくつもの流れ星を見つけることができました。過剰な光が星を見えにくくしている「光害」について、考える機会にもなればと思っています。



内藤さんの撮影した土星

地域のために何かできれば…



白野 幸子さん <子どもの保健・発育と発達>

流山には60年住んでいますが、市外に仕事をもっていましたから市役所の場所も知らないような状態でした。退職して1年間はぼーっとしていましたが、仕事で培った保健学の専門知識と経験を活かして、地域のために何かできればと思ったのが登録のきっかけです。

昨年11月には、公民館から「シニア世代家族の健康を考える」というテーマをいただき、講演をしました。

また、これがご縁で双子、三つ子の子育てをするお母さんたちのグループ「さくらんぼくらぶ」を知り、育児相談担当として参加するようになりました。受けた相談、予防接種や熱中症対策などの情報は「子育てメモ」としてまとめ、翌月にお渡ししています。たくさんのお母さんたちが多く、私も元気をもらえますね。



「さくらんぼくらぶ」は月1回、文化会館で活動しています

「まちの先生」に登録するには

ご登録いただける方は、生涯学習活動に理解と熱意があり、次の要件に当てはまる方です。

- ①生涯学習に関する知識、技能または経験があって市民に講義や実演などの学習支援をすることができる方
- ②市内在住・在勤・在学の満20歳以上の方
- ③地域の人材として登録した立場を利用して政治活動や宗教活動、営利を主たる目的とした活動を行わない方

【登録の手続き】

「流山市生涯学習地域の人材登録申請書」に必要事項を記入の上、次の書類を添えて市役所生涯学習課に持参してください。書類審査の上、登録証を交付します。
※申請書は市ホームページからダウンロードできます。

▷自薦の場合の添付書類

- ①知識または技能を有することを証明する書類（資格証、団体からの推薦書ほか）
※申請時に原本の写しをいただきます。
- ②登録証に貼付する写真(縦3cm×横2.5cm。無帽)
※スナップ写真の切り取りは不可
- ③企画のある方は、流山市生涯学習地域の人材活用企画書
※提出は任意です。

▷他薦の場合の添付書類

- ①被推薦者の承諾書
- ②被推薦者の知識または技能を有することを証明する書類（資格証、団体からの推薦書ほか）
※証明書類は被推薦者から借りられた場合
- ③登録証に貼付する被推薦者の写真(縦3cm×横2.5cm。無帽)
※スナップ写真の切り取りは不可

【登録の有効期間】

登録証の有効期間は、登録証の交付日から3年を経過した日の年度(4月～翌年3月)の末日までです。その後も登録を継続する場合は、更新手続きが必要です。

問生涯学習課 ☎7150 - 6106 ID11957

シニア世代への提案

変わっていくことを 楽しめる生き方を



**文教大学
野島 正也学長**

今年5月、文化会館で「地域活動のススメ」をテーマに講演。専門は社会教育論、生涯学習論、教育環境学、ライフプランニング。

今日一日をどう過ごすか、どう生きるか。現役時代は、仕事を通して明確な目標や目的意識があったわけですが、退職すればそれを自分で見つけなければなりません。また、人は加齢とともに「このままでいいや」、あるいは「一人とのつながりは面倒くさい」と防衛的な態度におちいりがちです。それは楽な生き方ではあるかもしれませんが、本当にそれでよいのでしょうか。

道端に咲いている花に気付いた。参加した講座で面白い人と話せた。駅前にできた店に行ってみよう。このように日々の生活のなかで、物の見方の変化、新しい人との出会い、変化に対する興味や関心など、変わっていくことを楽しむ。あるいは変化することを快いと感じ、それを実践していく。そうした姿勢や態度は、シニア世代の生き方を考える上での指針となると思います。変わるには、家にこもっていても難しいものです。外へ出てさまざまなものから刺激を受け、「よく変わっていく」ことを楽しめる生き方を目指しましょう。

地域デビューでは こんな点に気をつけよう

- 会社での役職は地域では通用しない。地域には人生の先輩がたくさんいます。
- 「会社の話はしない」がルールですが、培ってきた技能は活かすべき。また、会社での経験を話すことで、コミュニケーションを深めることもできるはず。
- 趣味で終わらず、地域貢献など広がりのある活動を目指しましょう。